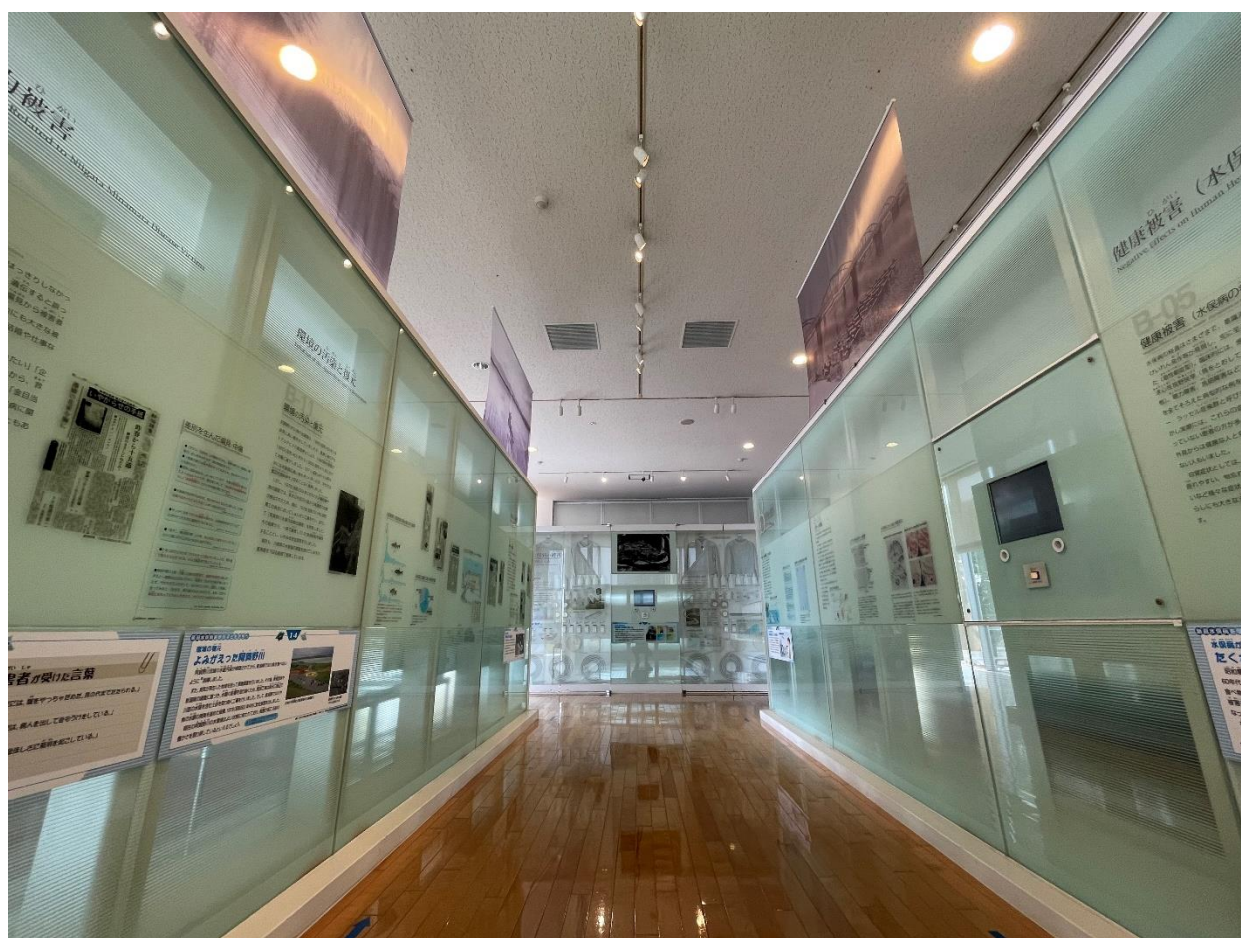


令和6年度（2024年度）

事業実施報告



新潟県立環境と人間のふれあい館
－新潟水俣病資料館－

ご 挨拶

2024（令和6）年度における当館のご利用者は、25,559人と前年度の21,158人に比べ4,401人の増加となりました。新型コロナウイルス感染症流行により、2020（令和2）年度に17,670人と大幅に落ち込み、以降なかなか回復しない状況が続くなかでの大幅な増加となりましたが、コロナ以前の約3万人の状況からしますと、まだ、回復も半ばという状況となっております。

昨年度、当館におきましては、新潟水俣病の啓発等のため、いくつか講演会等のイベントを開催しました。

6月には新潟水俣病発生初期から患者の治療・支援にあたってきた、齋藤 恒木戸病院名誉院長による「新潟のメチル水銀中毒」、9月には水俣で活動する写真家の豊田有希さんと被写体の胎児性水俣病患者である坂本しのぶさんによる「写真展ギャラリートーク&水俣病について今、何を思う」、10月には映画「阿賀に生きる、その後のその後、常呂（ところ）でどしたっ！」の上映及び関係者による「映画が出来るまでの話」、11月には阿賀町で活動する写真家の山口冬人さんによる「あがのがわの息吹 写真展ギャラリートーク」を開催し、それぞれ多数の皆様から来場をいただきました。

また、GW期間の特別上映会として、これまで当館所蔵のDVD上映であったものを、「四大公害病を学ぶ」として、熊本県の水俣病資料館、富山県のイタイイタイ病資料館及び三重県の四日市公害と環境未来館からそれぞれ公害啓発DVDや語り部口演のDVDをお借りしての上映を行い、好評をいただきました。

さらに、8月に開催した、「新潟水俣病の夏休み自由研究&水の公園福島潟の探検」は、これまでの半日イベントであった「高橋なんぐの一日館長」から、隣接の「ビュー福島潟」さんから全面的に協力をいただき、1日ばかりで新潟水俣病及び福島潟の自然を学び体験するイベントへと大幅にリニューアルしたところ、定員を上回る応募をいただきました。

このような様々なイベント活動を通じて、新潟水俣病についての理解が深められ、結果として利用者の増加にもつながったのではないかと考えております。

まもなく、1965（昭和40）年5月31日の新潟水俣病公式確認の日から、60年という節目の日を迎えます。60年という長い期間が経過した今日においても、新潟水俣病は全面的に解決されてはいません。まだ、新潟水俣病は終わってはいません。

これからも、新潟水俣病の歴史や教訓、また、環境の大切さについてご理解を深めていただけるよう、職員一同努めて参りますので、よろしく申し上げます。

令和7年5月

新潟県立環境と人間のふれあい館
－新潟水俣病資料館－
館長 藤田 伸一

目 次

I 新潟県立環境と人間のふれあい館 - 新潟水俣病資料館 - の概要

1 新潟県立環境と人間のふれあい館 - 新潟水俣病資料館 - の目的	1
2 事業体系	1
3 施設の概要	2
4 事業推進体制	3

II 令和6年度 事業実施状況

1 施設の利用状況	4
2 展示学習及び教育・啓発推進事業	5
3 資料整備促進事業	10

III 資料

1 月別利用者数	11
2 視聴覚利用数	11
3 学校利用実績	12
4 団体利用実績	14

[参考] 児童・生徒などの感想文	16
------------------	----

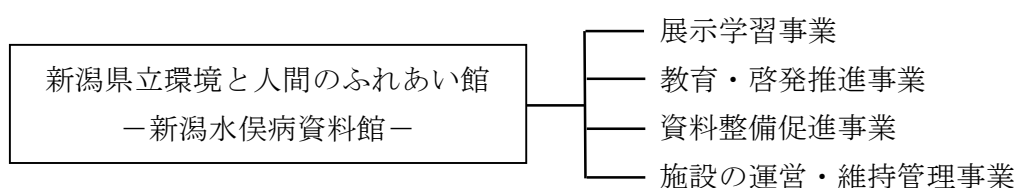
I 新潟県立環境と人間のふれあい館—新潟水俣病資料館—の概要

1 新潟県立環境と人間のふれあい館—新潟水俣病資料館—の目的

新潟水俣病という公害を経験した県として、その経験と教訓を生かし二度と同じような公害を発生させてはならないということの後世に伝え、水の視点から環境を大切にする意識を育むとともに、新潟水俣病に関する情報の発信、提供に努めることにより、公害の根絶と環境保全の重要性を啓発する。

2 事業体系

(1) 体系図



(2) 各事業の内容

ア 展示学習及び教育・啓発推進事業

新潟水俣病についての理解を深めるとともに、水の視点から環境の大切さなどを啓発するため、下記の事業を行いました。また、常設展示物や実験等での体験を通して参加体験型施設としての機能の充実を図るとともに、利用者に対するサービスの充実と効率的な管理運営に努めました。

令和6年度においては、関係者等を講師に招いた講演会及び写真パネル展・映像上映会の開催、教育機関と連携した講習会や講座の開催などを実施しました。

- (ア) 新潟水俣病患者による「語り部」口演
- (イ) 新潟水俣病、人権・環境教育の学習支援
- (ウ) 水質実験による環境保全の学習支援
- (エ) 水俣病発生地域間交流事業
- (オ) 新潟水俣病の夏休み自由研究&水の公園福島潟の探検
- (カ) 新潟水俣病学習サポーター事業
- (キ) 小学校・中学校への地域の環境学習等支援事業
- (ク) 教師用指導資料作成事業
- (ケ) 大学と連携した新潟水俣病に関する普及・啓発活動及び研究及び講義等の支援
- (コ) 写真展・パネル展・上映会の開催
- (サ) 幼児・児童を対象とした「キッズクラブ」の運営
- (シ) 福島潟関連施設との連携事業
- (ス) 講演会の開催

イ 資料整備促進事業

新潟水俣病に関する資料等の収集を行い、分散化の抑止と整備保管に努めました。

ウ 施設の運営・維持管理事業

館の事業活動（常設展示、普及啓発、資料収集）の効率的な運営と定着を図るとともに、

施設の老朽化による不具合を解消するため、監視カメラ入替工事や屋外高圧受電設備塗装及び補修工事等を実施し、施設の安全性向上に努めました。

また、管理運営協議会の意見を反映させ、円滑でより良い施設運営を目指しました。

3 施設の概要

(1) 展示エリア（常設展示）

ア 水辺のいきものと阿賀野川のくらし

川の中をイメージした空間で、水辺にすむ生き物たちの宝庫となっている阿賀野川の風景や歴史を紹介しています。初めて来館された方がイメージしやすいよう、阿賀野川流域ジオラマとパソコンの組合せによる関連地点の説明により、水俣病発生当時の流域の生活や教訓を幻想的な空間の中で感じ取ることができます。



「阿賀野川スコープ」



「阿賀野川シアター」

イ 新潟水俣病

新潟水俣病の歴史や教訓・経験を、パネル展示と映像・資料で紹介しています。

また、公害を発生させないためにはどうすればよいのかを考えるきっかけとなるような情報を提供しています。



「歴史年表グラフィック」



「案内説明員による説明」

ウ 水とわたしたちの生活

生活や環境の視点から水の大切さを紹介しています。また、環境クイズや水力水質浄化装置など、自ら体験しながら楽しく学習することができます。



「人間の活動と環境の関わり展示」



「水環境を学ぶ児童」

(2) 研修室

映像「新潟水俣病」「『新潟水俣病からの学び』未来へつなぐ新潟の自然～悲劇を繰り返さないために～」及びアニメーション「新潟水俣病と阿賀野川が教えてくれたもの」を上映して、新潟水俣病の経験と教訓を伝えています。また、講演会などの企画事業を行っています。

最大利用定員：80人

設備：100インチスクリーン&プロジェクター(DVD、PC対応)



(3) 多目的室

各種団体の小会議や学習の場として利用できます。

最大利用定員：10人



(4) 図書室

水俣病や環境に関する図書及びビデオ・DVDソフト等を収蔵し、閲覧や視聴が可能です。

書籍：2,391冊、VTR：383本

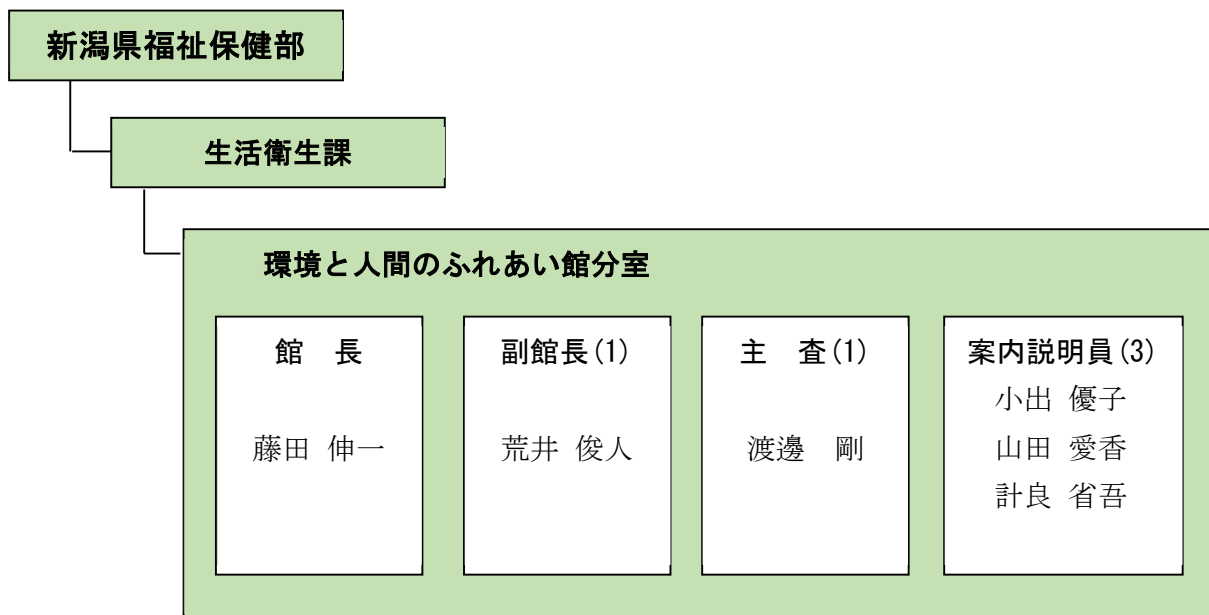


(5) ホール

明るい吹抜けのアメニティ空間で、年間を通じ写真パネル展を開催しています。各地の公害資料館のパンフレットを一堂に集めたコーナーも設置しています。



4 事業推進体制



II 令和6年度 事業実施状況

1 施設の利用状況

(1) 利用者

令和6年度の利用者数は25,559人でした。平成13年8月の開館からの累計利用者は789,266人となりました。

(2) 学校等及び団体の利用状況

令和6年度の利用状況は、学校等が95校(6,409人)、団体では教育関係団体が8団体(253人)、その他団体が43団体(632人)の計51団体(885人)が利用しました。

《学校等利用状況》

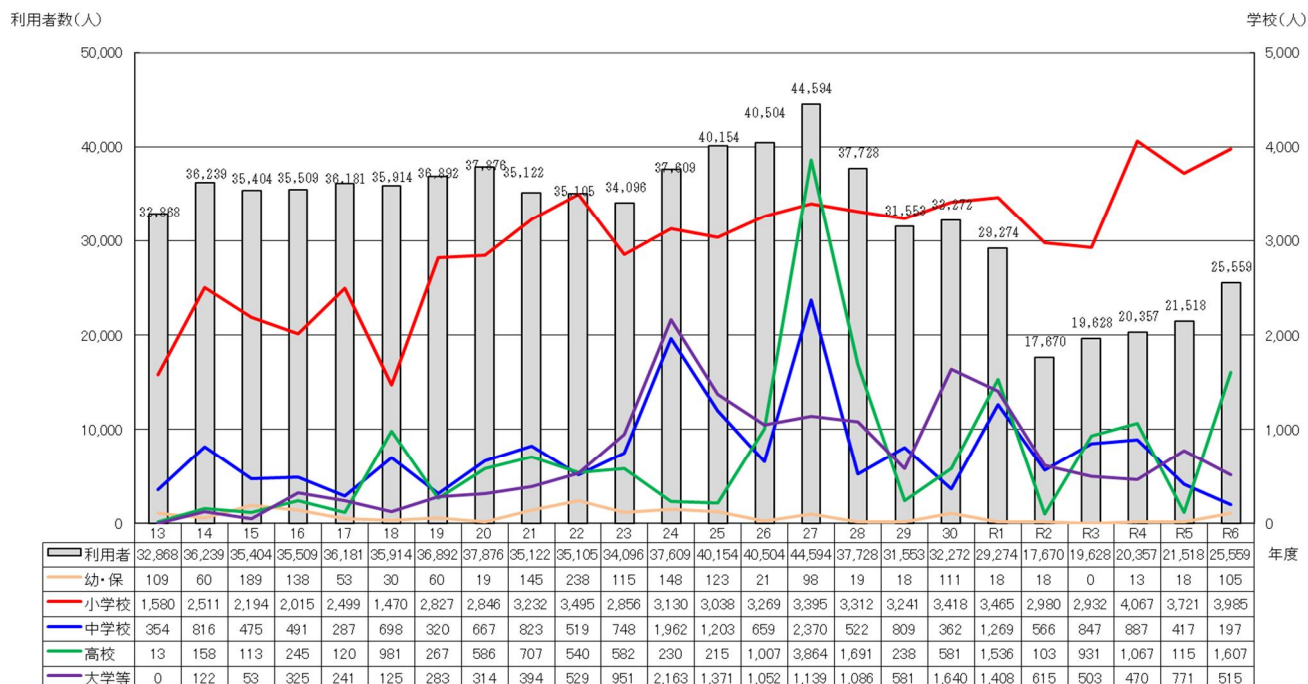
年度	合計		幼・保育園		小学校		中学校		高等学校		大学等	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
令和4年度	106	6,504	1	13	79	4,067	13	887	2	1,067	11	470
令和5年度	91	5,042	1	18	67	3,721	8	417	2	115	13	771
令和6年度	95	6,409	4	105	69	3,985	4	197	4	1,607	14	515

《団体利用状況》

年度	合計		教育関係団体										その他団体	
			小学校教員		中学校教員		高校教員		教育委員会等		計			
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
令和4年度	24	517	4	90	2	69	1	8	0	0	7	167	17	350
令和5年度	22	427	1	20	0	0	1	6	0	0	2	26	20	401
令和6年度	51	885	6	217	1	26	1	10	0	0	8	253	43	632

[参考] 《年度別 利用者数・学校利用状況の推移》

※平成13年度は、開館日の平成13年8月1日から平成14年3月31日までの集計。



2 展示学習及び教育・啓発推進事業

(1) 語り部口演

新潟水俣病の歴史や現状を正しく伝え、差別・偏見の解消及び環境の大切さを伝えるために、語り部による口演等を91回(5,207人)行いました。

口演回数を対象別にみると、小学校57回、中学校4回、高校3回、大学等7回、教員9回、その他11回となっています。

《令和6年度 語り部別口演実績》

語り部	合計		館内		出張		学校・団体等対象別語り部回数					
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	小学校	中学校	高校	大学等	教員	その他
小武 節子	9	334	9	334	0	0	3	2	0	1	1	2
山崎 昭正	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小町 ゆみ子	16	1,004	11	541	5	463	14	0	0	1	1	0
曾我 浩	16	648	14	491	2	157	13	1	0	0	0	2
水澤 洋	16	703	13	492	3	211	6	1	0	2	2	5
権瓶 良雄	1	52	1	52	0	0	1	0	0	0	0	0
語り部DVD	21	668	21	668	0	0	18	0	0	0	2	1
語り部DVD (館長)	12	1,798	3	31	9	1,767	2	0	3	3	3	1
語り部DVD (サポーター)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	91	5,207	72	2,609	19	2,598	57	4	3	7	9	11

※「館内」：環境と人間のふれあい館内で行った口演、「出張」：館外で行った口演

《年度別 語り部口演実績》

年度	合計		館内		出張	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
令和4年度	114	5,291	101	3,095	13	2,196
令和5年度	85	3,830	75	2,906	10	924
令和6年度	91	5,207	72	2,609	19	2,598

○ 新潟水俣病の経験と教訓について口演する語り部のみなさん



小武 節子さん



山崎 昭正さん



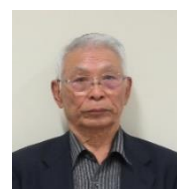
小町 ゆみ子さん



曾我 浩さん



水澤 洋さん



権瓶 良雄さん



立川 小三郎さん(DVD)

(2) 新潟水俣病の学習

映像「新潟水俣病」「『新潟水俣病からの学び』未来へつなぐ新潟の自然～悲劇を繰り返さないために～」やアニメーション「新潟水俣病と阿賀野川が教えてくれたもの」（新潟県作成）を学校、団体及び一般来館者を対象に78回（1,854人）上映し、水俣病の発生から現在に至るまでの歴史や被害者の苦しみ、水環境の大切さなどを広く伝えました。

また、来館の際に理解をより深くするため、小・中学校等での事前学習を勧めており、これらの映像を貸出しました。

	合計	学校					団体		一般
		幼・保	小学校	中学校	高校	大学等	教員等	その他	
上映回数	78	3	37	2	0	6	1	26	3
視聴団体数	56	3	18	2	0	4	1	25	3
視聴者人数	1,854	1,413					429		12

※映像の貸出は含まない。

(3) 水環境の学習

水の大切さ及び環境保全について説明しました。

水の環境を学習するために、CODパックテストによる水質実験を行いました。

実験名	回数	参加者数
CODパックテスト	132回	528人



(4) 水俣病発生地域間交流事業

新型コロナウイルス感染症の影響により現地での交流を中止し、阿賀野市立笹岡小学校と水俣市立水東小学校をリモートで結んで水俣病・環境問題の理解を深める学習に取り組み、成果を発表しました。

第1回リモート授業 令和6年11月6日

内容 学校紹介、交流タイム

第2回リモート授業 令和7年1月29日

内容 各校の学習発表、交流タイム

司会進行：高橋なんぐさん

阿賀野市立笹岡小学校 5年生32人

水俣市立水東小学校 5・6年生12人



(5) 新潟水俣病の夏休み自由研究&水の公園福島潟の探検

ふれあい館一日館長の高橋なんぐ氏と小学校5・6年生の親子と一緒に水俣病を学ぶほか、水の駅「ビュー福島潟」のレンジャーと福島潟での水環境学習を遊びながら体験しました。

開催日：令和6年8月3日

会場：環境と人間のふれあい館・ビュー福島潟・菱風荘

講師：一日館長 高橋なんぐさん（新潟お笑い集団NAMARA）

ビュー福島潟レンジャー 佐藤安男さん

サポート講師 環境と人間のふれあい館新潟水俣病学習サポーター

対 象：小学校 5・6 年生の親子

参 加 者：12 組(24 人)

(6) 新潟水俣病学習サポーター事業

教育現場における新潟水俣病学習の普及・充実を図るため、新潟水俣病学習サポーターを県内小中学校等へ派遣し、水俣病学習の指導・助言等を行います。（令和6年度実績なし）

（令和7年3月末現在、登録サポーター3名）

(7) 小学校・中学校への地域の環境学習等支援事業

子どもたちが環境問題を身近なものとしてとらえ、環境の大切さを理解し新潟水俣病のような悲劇を繰り返さないための知識を身に付け、行動力と意欲を育むために学校が家庭や地域と連携して行う環境学習を支援しました。

また、新潟水俣病の教訓を通じて人と人との絆の大切さを学び、差別・偏見をなくす力を育む人権教育についても支援の対象としています。

〈令和6年度モデル校〉

上越市立東本町小学校、上越市立北諏訪小学校、妙高市立新井中央小学校、妙高市立妙高原小学校、五泉市立五泉小学校、五泉市立五泉南小学校、五泉市立川東小学校、五泉市立村松小学校、五泉市立愛宕小学校、新潟市立葛塚東小学校、新潟市立木崎小学校、新潟市立木戸小学校、新潟市立関屋小学校、新潟市立女池小学校、新潟市立亀田西小学校、新潟市立新津第三小学校、新潟市立大通小学校、新潟市立真砂小学校、新潟市立西内野小学校、新潟市立黒崎南小学校、新潟市立漆山小学校、新潟市立南浜中学校、新潟市立白南中学校

(8) 教師用指導資料作成事業

「はじめての新潟水俣病」について、記載内容を見直すなど、現在の児童に対する学校での教育指導と整合し正確な学習啓発に資する内容に変更しました。

(9) 新潟水俣病講座(大学と連携・協力した講座の開催)

ア 協力大学：城西大学 薬学部医療栄養学科

開 催 日：令和6年5月16日

講 師：環境と人間のふれあい館館長

参加者数：64人

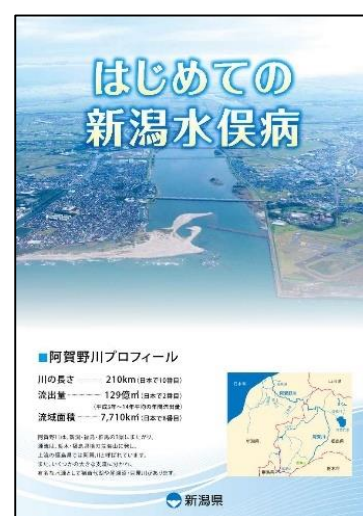
イ 協力大学：新潟食料農業大学

開 催 日：令和6年6月6日

講 師：環境と人間のふれあい館館長

参加者数：107人

ウ 協力大学：新潟医療福祉大学



社会福祉学部社会福祉学科

開催日：令和6年6月28日

講師：環境と人間のふれあい館館長

参加者数：78人

開催日：令和6年7月26日

講師：出張語り部（小町ゆみ子さん）

参加人数：77人

エ 協力大学：新潟大学 自然科学研究科

開催日：令和6年9月27日

講師：環境と人間のふれあい館館長

参加人数：75人

オ 協力大学：新潟中央短期大学

開催日：令和6年11月1日

講師：環境と人間のふれあい館館長

参加人数：46人

(10) パネル展・上映会

ア 阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業パネル展

「水と大地のSDGsをさぐる 大河編

「清らかな水を守り活かす持続可能な豊かさとは？」

開催期間：令和6年4月13日～5月12日

入館者数：2,256人



イ ゴールデンウィーク特別上演会「四大公害病を学ぶ」

開催期間：令和6年5月3日～5月6日

観覧者数：57人

ウ 阿賀野川流域巡回パネル展

開催期間：令和6年6月5日～6月18日

入館者数：1,055人



エ 新潟水俣病写真展2024

「阿賀野川のおだやかな暮らしとその後」

開催期間：令和6年6月22日～7月21日

入館者数：1,772人

オ 講演会

「新潟のメチル水銀中毒について」

講師：斎藤 恒さん（木戸病院名誉院長）

開催期間：令和6年6月30日午後1時30分～午後3時30分

聴講者数：58人



カ 夏休み子ども工作教室「利再来（リサイクル）」&館内ウォークラリー

開催期間：令和6年7月・8月の土・日曜日

参加者数：93人

キ 環境クイズ（福島潟自然文化祭）

開催期間：令和6年9月22日

参加者数：127人



ク 豊田有希写真展

「SASANQUAしのぶさんの日々」

開催期間：令和6年9月23日～10月16日

観覧者数：1,828人



ギャラリートーク「水俣病について今、何を思うのか」

出演：豊田有希さん（写真家）、坂本しのぶさん（胎児性水俣病患者）ほか

開催期間：令和6年9月23日午後1時30分～午後3時30分

聴講者数：41人

ケ トークショー&映画上映会

- ・トークショー「映画が出来るまでの話し」

出演：佐藤睦監督、旗野秀人プロデューサーほか

- ・上映会「ところ（常呂）でどしたい」

開催期間：令和6年10月27日午後1時30～午後4時

視聴者数：42人



コ 山口冬人さん 俳句&写真展「あがのがわの息吹」

開催期間：令和6年11月15日～11月30日

入館者数：1,172人



山口冬人さんギャラリートーク

阿賀野川沿いの自然と風土をテーマにした俳句と写真の

ギャラリートーク

開催期間：令和6年11月16日午前10時～午前11時30分

聴講者数：35人

サ クリスマス工作教室「世界でひとつのXmasリースを作ろう」

開催期間：令和6年12月7日～12月8日

参加者数：46人



シ 福島潟フォトコンテスト昨年度入賞作品展

開催期間：令和7年1月8日～2月2日

入館者数：1,297人



ス 阿賀野川写真コンテスト入賞作品展

開催期間：令和7年2月15日～3月16日

入館者数：1,182人

(11) 環境と人間のふれあい館キッズクラブ

会員数：57人

実施内容：バースデーカードを郵送

イベント情報を郵送

(12) 環境の学習と福島潟関連施設との連携

水の公園福島潟スタンプラリーウォーク

開催期間：令和6年4月27日～6月30日

令和6年7月27日～8月25日

3 資料整備促進事業

水俣病に関する資料収集を行い、分散化の抑止と整備保管に努めました。また、主に水環境に関する環境関係書籍やVTRの収集保管を行いました。(令和7年3月31日現在累計)

水俣病裁判資料等の収集		7,227点	
図書等の整備状況	書籍	水俣病関係	739冊
		その他(河川環境、環境問題など)	1,652冊
	VTR		397本
	マイクロフィルム「戦後日本公害事件史料集成坂東克彦史料」		75巻

Ⅲ 資料

1 月別利用者数

月	利用者数(人)			増減 (令6-令5)	開館日数(日)			1日平均(人)		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4	1,858	1,397	1,962	565	26	26	25	71	54	78
5	1,385	2,363	3,558	1,195	26	26	27	53	91	132
6	1,929	1,993	2,299	306	26	26	26	74	77	88
7	2,551	1,548	1,935	387	27	26	26	94	60	74
8	1,325	1,985	2,270	285	26	27	27	51	74	84
9	1,879	2,002	2,158	156	26	26	25	72	77	86
10	1,783	2,041	2,865	824	26	26	27	69	79	106
11	2,647	2,921	2,791	▲ 130	26	26	26	102	112	107
12	1,632	1,184	2,017	833	23	23	23	71	51	88
1	791	1,150	1,175	25	23	23	23	34	50	51
2	821	1,268	1,359	91	24	25	24	34	51	57
3	1,756	1,306	1,170	▲ 136	27	27	26	65	48	45
計	20,357	21,158	25,559	4,401	306	307	305	67	69	84

開館からの累計 789,266人 (令和7年3月末現在)

2 視聴覚利用数

※映像DVD「新潟水俣病」「新潟水俣病からの学び～悲劇を繰り返さないために～」
及びアニメ「新潟水俣病と阿賀野川が教えてくれたもの」の視聴

(1) 上映回数及び視聴者数

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学校	上映回数(回)	0	0	2	0	1	5	15	13	5	3	3	1	48
	視聴者数(人)	0	0	38	0	10	220	447	446	90	78	54	30	1,413
団体	上映回数(回)	4	1	1	7	4	2	3	3	0	0	1	1	27
	視聴者数(人)	49	21	15	72	105	31	47	80	0	0	5	4	429
一般	上映回数(回)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
	視聴者数(人)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	8	12
合計	上映回数(回)	5	1	3	7	5	7	18	16	5	4	4	3	78
	視聴者数(人)	51	21	53	72	115	251	494	526	90	80	59	42	1,854

(2) 「新潟水俣病」DVDの視聴学校・団体名

ア 学校

※()内の数字は視聴回数を表す

区分	学校数 (回数)	視聴学校名
幼稚園 保育園	3校 (3回)	聖心こども園、岡山認定こども園、ルンビニ保育園
小学校	18校 (37回)	新潟市立早通小学校、新潟市立関屋小学校、新潟市立葛塚東小学校(2)、新潟市立阿賀小学校(2)、新発田市立住吉小学校(3)、上越市立国府小学校、新潟市立新津第三小学校(6)、新潟市立木崎小学校、新潟市立東山の下小学校(4)、新潟市立紫竹山小学校(2)、新潟市立結小学校(3)、新発田市立猿橋小学校(3)、五泉市立川東小学校、新発田市立豊浦小学校(2)、聖籠町立亀代小学校、新発田市立米子小学校、燕市立燕南小学校(2)、新発田市立加治川小学校
中学校	2校 (2回)	新潟市立白南中学校、新潟市立南浜中学校
大学等	4校 (6回)	新潟農業バイオ専門学校(3)、福島大学、新潟県厚生連佐渡看護専門学校、中和寮(一橋大学院生)

イ 団体

団体区分	団体数 (回数)	視聴団体名
行政関係	1団体 (1回)	全国環境研協議会北海道・東北支部総会
教員等 学校関係	1団体 (1回)	新潟市立山潟中学校区教職員研修
その他団体	24団体 (25回)	小林さん一家、健康友の会 さくらんぼ班、大島長生様御一行、きまクラブ、自治労全国一般新潟労働組合、新発田人権擁護委員協議会、大学等環境安全協議会、大久保様御一行、社会福祉協議会、熊本県小国町隣保館、トラベルマスターはるかぜツアー(2)、渡辺様御一行、新潟市江南区郷土資料館職員・ボランティア、学2連合自治会、一般社団法人日本汚染土壌処理業協会、新潟水俣病2024現地調査、豊浦町歩こう会、新潟市東区山の下民児協、NKD31まちあるきの会、新潟県建設業協会、柏崎市消費者協会、新発田地区公民館、日本環境技術協会、石川様御一行

3 学校利用実績

学校区分	学校数 (校)	人数 (人)
幼稚園・保育園	4	105
小学校	69	3,985
中学校	4	197
高等学校	4	1,607
大学・専門学校	14	515
合計	95	6,409

[学校内訳]

No.	来館日	曜	所在地	学校名 (学年)	人数	目的
1	4月23日	火	新発田市	新発田市立東豊小学校6年	33	水俣病の学習
2	5月16日	木	埼玉県	城西大学薬学部医療栄養学科1年	64	水俣病の学習
3	5月22日	水	三条市	新潟県立三条東高等学校 全学年	719	水俣病の学習
4	5月23日	木	新潟市東区	新潟市立木戸小学校6年	53	水俣病の学習
5	5月30日	木	新潟市秋葉区	新潟市立小合中学校 全学年	77	水俣病の学習
6	6月5日	水	新潟市中央区	新潟農業バイオ専門学校2年	14	水俣病の学習
7	6月6日	木	胎内市	新潟食料農業大学1年	107	水俣病の学習
8	6月7日	金	新潟市江南区	新潟市立早通小学校4年	24	水環境の学習
9	6月11日	火	新潟市東区	新潟市立木戸小学校6年	53	水俣病の学習
10	6月11日	火	長岡市	長岡市立中島小学校6年	28	修学旅行、水俣病の学習
11	6月20日	木	上越市	上越市立富岡小学校6年	18	修学旅行、水俣病の学習
12	6月25日	火	阿賀野市	阿賀野市立京ヶ瀬中学校1年	49	水俣病の学習
13	6月28日	金	新潟市北区	新潟医療福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科2,3年	78	水俣病の学習
14	7月3日	水	新潟市西蒲区	新潟市立漆山小学校5年	24	水俣病の学習
15	7月4日	木	柏崎市	柏崎市立半田小学校6年	58	修学旅行
16	7月11日	木	上越市	上越市立北諏訪小学校5年	15	水俣病の学習
17	7月26日	金	新潟市北区	新潟医療福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科2,3年	77	水俣病の学習
18	7月27日	土	新潟市江南区	たんぼぼ保育園	20	自由見学
19	8月30日	金	胎内市	聖心こども園	10	自由見学
20	9月5日	木	妙高市	妙高市立新井中央小学校5年	52	水俣病の学習
21	9月6日	金	新潟市西蒲区	新潟市立中之口東小学校4年	19	水俣病の学習
22	9月10日	火	新潟市北区	新潟市立濁川小学校5年	57	水俣病の学習
23	9月10日	火	阿賀町	新潟県立阿賀黎明高等学校 全学年	56	水俣病の学習
24	9月11日	水	新潟市北区	新潟市立葛塚小学校5年	93	水俣病の学習
25	9月12日	木	新潟市中央区	新潟市立関屋小学校4年	36	水環境の学習
26	9月18日	水	新潟市中央区	新潟市立南万代小学校5年	69	水俣病の学習
27	9月18日	水	新潟市西区	新潟市立西内野小学校5年	116	水俣病の学習
28	9月20日	金	新潟市西区	新潟市立西内野小学校5年	116	水環境の学習
29	9月21日	土	新潟市東区	岡山認定こども園	63	自由見学
30	9月22日	日	新潟市北区	新潟市立葛塚東小学校5年	116	水俣病の学習
31	9月25日	水	福島県	福島大学4年	5	水俣病の学習
32	9月27日	金	新潟市西区	新潟大学自然科学研究科	75	水俣病の学習
33	10月3日	木	新潟市中央区	新潟市立女池小学校5年	65	水俣病の学習
34	10月3日	木	上越市	上越市立東本町小学校5年	71	水俣病の学習
35	10月4日	金	新潟市中央区	新潟市立女池小学校5年	66	水俣病の学習
36	10月8日	火	新潟市南区	新潟市立白南中学校1年	39	水俣病の学習
37	10月8日	火	新潟市秋葉区	新潟市立阿賀小学校4年	45	水環境の学習
38	10月9日	水	新発田市	新発田市立住吉小学校5年	34	水俣病の学習
39	10月10日	木	新発田市	新発田市立住吉小学校5年	35	水俣病の学習
40	10月11日	金	新発田市	新発田市立住吉小学校5年	37	水俣病の学習
41	10月11日	金	佐渡市	新潟県厚生連佐渡看護専門学校	19	水俣病の学習
42	10月16日	水	新発田市	新発田市立紫雲寺小学校5年	26	水俣病の学習
43	10月16日	水	上越市	上越市立国府小学校5年	50	水俣病の学習
44	10月17日	木	新潟市東区	新潟市立東山の下小学校5年	135	水俣病の学習

45	10月18日	金	新潟市中央区	新潟市立桜が丘小学校5年	94	水俣病の学習
46	10月22日	火	新潟市秋葉区	新潟市立新津第三小学校5年	118	水俣病の学習
47	10月23日	水	長岡市	新潟県立長岡明德高等学校1年	77	水俣病の学習
48	10月25日	金	新潟市東区	新潟市立下山小学校5年	118	水環境の学習
49	10月29日	火	新発田市	新発田市立七葉小学校5年	39	水俣病の学習
50	10月30日	水	新潟市北区	新潟市立木崎小学校5年	70	水俣病の学習
51	11月1日	金	新潟市東区	新潟市立東山の下小学校5年	142	水俣病の学習
52	11月1日	金	加茂市	新潟中央短期大学2年	46	水俣病の学習
53	11月6日	水	新潟市西区	新潟市立黒埼南小学校5年	24	水俣病の学習
54	11月6日	水	新発田市	新発田市立東豊小学校5年	31	水俣病の学習
55	11月7日	木	新発田市	新発田市立東豊小学校5年	28	水俣病の学習
56	11月8日	金	新発田市	新発田市立東豊小学校5年	31	水俣病の学習
57	11月8日	金	新潟市東区	新潟市立下山小学校5年	115	水俣病の学習
58	11月12日	火	新潟市江南区	新潟市立亀田西小学校5年	112	水俣病の学習
59	11月14日	木	新潟市中央区	新潟市立紫竹山小学校5年	64	水俣病の学習
60	11月19日	火	新発田市	新発田市立猿橋小学校5年	108	水俣病の学習
61	11月19日	火	新潟市西区	新潟市立真砂小学校5年	87	水環境の学習
62	11月20日	水	新潟市秋葉区	新潟市立結小学校5年	36	水俣病の学習
63	11月20日	水	新潟市北区	新潟市立南浜中学校1年	32	水俣病の学習
64	11月21日	木	新発田市	新発田市立住吉小学校5年	110	水俣病の学習
65	11月21日	木	新潟市秋葉区	新潟市立結小学校5年	31	水俣病の学習
66	11月22日	金	新潟市秋葉区	新潟市立結小学校5年	32	水俣病の学習
67	11月26日	火	新発田市	新発田市立猿橋小学校5年	37	水俣病の学習
68	11月27日	水	新発田市	新発田市立猿橋小学校5年	35	水俣病の学習
69	11月28日	木	新発田市	新発田市立猿橋小学校5年	37	水俣病の学習
70	11月29日	金	妙高市	妙高市立妙高高原小学校5年	18	水俣病の学習
71	11月29日	金	長岡市	長岡市立四郎丸小学校5年	64	水俣病の学習
72	12月2日	月	三条市	新潟県立三条高等学校 全学年	755	水俣病の学習
73	12月3日	火	新発田市	新発田市立外ヶ輪小学校5年	65	水俣病の学習
74	12月6日	金	新潟市江南区	新潟市立亀田東小学校5年	117	水俣病の学習
75	12月6日	金	新潟市中央区	新潟農業バイオ専門学校1年	4	水俣病の学習
76	12月10日	火	五泉市	五泉市立川東小学校4年	32	水俣病の学習
77	12月11日	水	新潟市中央区	新潟市立沼垂小学校5年	74	水環境・水俣病の学習
78	12月12日	木	新発田市	新発田市立豊浦小学校5年	24	水俣病の学習
79	12月13日	金	新発田市	新発田市立豊浦小学校5年	26	水俣病の学習
80	12月20日	金	新潟市中央区	新潟農業バイオ専門学校1年	4	水俣病の学習
81	1月9日	木	新潟市北区	新潟市立岡方第一小学校5年	17	水俣病の学習
82	1月10日	金	阿賀野市	阿賀野市立笹岡小学校5年	32	水俣病の学習
83	1月23日	木	聖籠町	聖籠町立亀代小学校5年	60	水俣病の学習
84	1月26日	日	東京都	中和寮（一橋大学院生）	6	水俣病の学習
85	1月28日	火	燕市	燕市立燕西小学校5年	103	水俣病の学習
86	1月30日	木	胎内市	胎内市立きのと小学校5年	31	水俣病の学習
87	1月31日	金	新発田市	ルンビニ保育園	12	自由見学
88	2月5日	水	新発田市	新発田市立東小学校5年	72	水俣病の学習
89	2月6日	木	新潟市北区	新潟市立葛塚東小学校5年	107	水俣病の学習
90	2月13日	木	新発田市	新発田市立米子小学校5年	14	水俣病の学習
91	2月18日	火	燕市	燕市立燕南小学校5年	40	水環境の学習
92	2月21日	金	新発田市	新発田市立佐々木小学校5年	16	水俣病の学習
93	2月27日	木	新潟市北区	新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科3,4年	6	水俣病の学習
94	3月4日	火	新発田市	新発田市立加治川小学校5年	30	水俣病の学習
95	3月25日	火	新発田市	敬和学園大学	10	水俣病の学習

4 団体利用実績

団体区分		団体数(団体)	人数(人)
教育関係団体	小学校教員	6	217
	中学校教員	1	26
	高等学校教員	1	10
	教育委員会等	0	0
	小計	8	253
その他の団体		43	632
合計		51	885

【団体内訳】

No.	来館日	曜	所在地	団体名	人数	備考
1	4月5日	金	東京都	小林さん一家	4	
2	4月5日	金	新潟市秋葉区	健康友の会 さくらんぼ班	16	
3	4月6日	土	東京都	立教セカンドステージ大学 トトロの会	9	
4	4月26日	金	上越市	大島長生様御一行	18	
5	4月26日	金	新潟市西区	きままクラブ	11	
6	5月8日	水	東京都	株式会社レゾナック・ホールディングス	8	
7	5月26日	日	新潟県	自治労全国一般新潟労働組合	21	
8	6月20日	木	新潟市西区	松葉会	25	
9	6月21日	金	北海道・東北	全国環境研協議会北海道・東北支部総会	15	
10	7月2日	火	新発田市	新発田人権擁護委員協議会	20	
11	7月17日	水	全国	大学等環境安全協議会	24	
12	7月23日	火	大阪府	大久保様御一行	4	
13	7月24日	水	新潟市東区	社会福祉協議会	3	
14	7月25日	木	新潟県	新潟県民医連共同組織連絡会	35	
15	7月26日	金	熊本県	熊本県小国町隣保館	5	
16	7月31日	水	新潟県	トラベルマスターズはるかぜツアー	8	
17	7月31日	水	新潟県	トラベルマスターズはるかぜツアー	8	
18	8月1日	木	新潟市東区	新潟市立木戸中学校区教職員研修	81	
19	8月1日	木	新潟市中央区	新潟市立山潟中学校区教職員研修	78	
20	8月7日	水	上越市	上越市立八千浦小学校教職員研修	9	
21	8月9日	金	愛知県	渡辺様御一行	2	
22	8月22日	木	新潟市北区	新潟市立葛塚東小学校教職員研修	20	
23	8月22日	木	新潟市北区	新潟市立早通南小学校教職員研修	23	
24	8月23日	金	新潟市江南区	新潟市江南区郷土資料館職員・ボランティア	9	
25	8月28日	水	新潟市中央区	新潟日報インターンシップ	18	
26	8月29日	木	新潟市	学2連合自治会	16	
27	9月12日	木	新潟市中央区	新潟日報インターンシップ	19	
28	9月28日	土	全国	一般社団法人日本汚染土壌処理業協会	8	
29	9月28日	土	新潟県	新潟水俣病2024現地調査	23	
30	10月2日	水	東京都	株式会社レゾナック・ホールディングス	10	
31	10月4日	金	新発田市	豊浦町歩こう会	17	
32	10月12日	土	新潟市東区	新潟市東区山の下民児協	14	
33	10月26日	土	関東	民医連(関東地区民医連)	24	
34	10月28日	月	関東	日本水環境学会関東支部	17	
35	10月29日	火	新潟市	NKD31まちあるきの会	16	
36	11月3日	日	関東	関東・北関東甲信越薬学生セミナー2024	19	
37	11月7日	木	新潟県	新潟県建設業協会	31	
38	11月12日	火	柏崎市	柏崎市消費者協会	28	
39	11月14日	木	新発田市	新発田地区公民館	21	
40	11月15日	金	新潟市中央区	新潟日報入社3年目研修	11	
41	11月23日	土	新潟市中央区	新潟日報インターンシップ	17	
42	11月27日	水	新潟市	新潟市民講座	39	

43	11月29日	金	関東	(株) 富士国際旅行社御一行	11
44	12月3日	火	新潟市西区	新潟県立新潟工業高等学校教職員研修	10
45	12月7日	土	新潟市西区	新潟市社会科教員サークル	6
46	12月23日	月	新潟市東区	新潟市立下山中学校教職員研修	26
47	2月4日	火	関東	日本環境技術協会	5
48	3月11日	火	東京都	環境省・法務局御一行様	5
49	3月14日	金	東京都	株式会社レゾナック・ホールディングス	6
50	3月22日	土	大阪府	近畿訴訟関係者	8
51	3月26日	水	東京都	石川様御一行	4

〔参考〕 児童・生徒などの感想文

先日は、新潟水俣病のことについて、くわしく教えてくださってありがとうございました。私は、新潟水俣病の症状は、見た目では病気が判断できないことがわかりました。

また、差別をされたりするのが怖くて新潟水俣病と声をあげられない人もいるということもわかりました。新潟水俣病の人は、差別や偏見を受け、新潟水俣病の症状などで、心も体もボロボロになって、苦しんでいたことがわかりました。また、新潟水俣病のせいで、けっこんができなくなってしまった人もいることがわかりました。私は、ひどい差別、偏見だと思いました。なので私はこれからも見た目だけで判断しないということをお忘れしないでください。

新潟市立住吉小学校5年生 (R6.10.9 来館)

12月3日の校外学習のときは、ありがとうございました。私は小武節子さんのお話を聞いて、水俣病は体だけでなく心もボロボロにしてしまう病気だということが、わかりました。そして水俣病は、今もつづいている、ひがいの者の方たちの病気はまだ治ったわけではないということを私は、感じました。水俣病のひがいの者の方は手足のしびれ、耳鳴りなどでつらいのに近所の人などから「偽患者」、「金が欲しいだけだろ」などいわれ、差別や偏見をされてきました。私は、水俣病に限らず差別や偏見は、絶対にしてはならない、許せないと思います。私はこれから今ある自然環境を大事にして、二度と差別や偏見をおこさないように、人の心を大切にできる人になりたいです。

新潟市立外ヶ輪小学校5年生 (R6.12.3 来館)

新潟水俣病資料館のみな様へ

先日は大変お世話になりました。わたしは今回の校外学習で公害の怖さを知りました。美味しい魚や食べ物を食べていただけで、生涯治らないような障害が起きてしまうなんて考えただけで恐ろしいです。でもそのようなことが日本でしかも新潟で起きているということを最初に聞いた時驚きました。それでだんだんどのようなことが起きてこうなってしまったのか気になり始めました。そこで新潟水俣病資料館さんに行っているいろいろなことを知れたと思いました。実験を行って有機物というものは、本当に川にとって毒なのだと思いました。これからは自分がポイ捨てなどをして川や海に有機物が行かないようにすることはもちろん他の人がそうしてしまわないようにしたいと思いました。見学した時にも本当に水俣病は怖いものなんだと思いました。それと同時に今もなお苦しんでおられる被害者の方を昔の方を昔の人たちのように偏見を持って見捨てるのではなく、助けていきたいと思いました。そして被害者たちのことを考えたり、そのご家族のことを考えている間にわたしは、この恐ろしい公害は繰り返してはならないという思いが強くなっていきました。私たちのような小学生や若い人たちがこのよう学習し、人類が公害の恐ろしさを忘れないようにするということはとても大切なことだと思いました。わたしはこれから水とがんばってつきあっていきたいと思います。この公害の恐ろしさを感じても水を使うことをやめるということは私たちにはできません。水を飲まなければ死んでしまうし、水を使わなければ調理も十分にできません。水といい関係を築いていけるといいと思いました。

新潟市立真砂小学校5年生 (R6.11.19来館)

感想・1年生

・水俣病は安易な考えからたくさんの患者を出した。それに対する差別や偏見を減らすためには1人1人が水俣病についてしっかり理解する必要があると思います。

・今日の話をしっかり記憶に刻み込んで、自分が差別をする側の人間にならないように、偏見を持たないように意識し、自分で調べてから行動できる人間になりたいです。

感想・2年生

・私はもともと四大公害病や新潟水俣病の事は祖母や、中学の先生から聞き、知っていました。しかしそれらはすべて昔の事で、過去の歴史として学んだ意識があり「もう終わった事」と認識していたので深く考える機会がありませんでした。偏見や差別を受けて精神的に傷つけられた人がいると知り、語り継いでいるのは決して昔話ではないと言うことを知りました。自分には関係ないと考えるのでは無く、被害に遭った大勢の人の苦痛や死を無駄にしないように行動していきたいと思いました。

・講演を聞いて自分が持っている水俣病についての知識はごくわずかだったということを感じた。根拠のない差別や偏見は絶対にあってはならず、今後私たちが生きていく上でさらに理解を深め周囲にも正しい知識を広めていきたいと思います。自分は探求学習のテーマが「人権」なのでそれと関連づけていき、よい良い社会になって行くにはどうしたらいいかを考えていきたいと思った。

感想・3年生

・熊本水俣病確定の9年後新潟でも同病が起こった。食物連鎖によりメチル水銀汚染された阿賀野川の魚介類を長期多量に摂取したひとが脳・神経障害を被ったのである。患者と原因企業昭和電工との間で裁判となり、当初は手厚い補償が認められたが、現在では認定基準も厳しくなり多くのひとが補償されていない。「裁判はお金のためだ」など差別もある。このような偏見をうのみにしないためにも。正しい認識と理解、行動が必要だと思った。

新潟県立三条東高等学校1・2・3年生 (R6.5.22館長出張講義)

新潟県立環境と人間のふれあい館
－ 新潟水俣病資料館 －

〒950-3324

新潟県新潟市北区前新田字新々囲乙 364-7

TEL 025-387-1450 FAX 025-387-1451

ホームページ <http://www.fureaikan.net>

Eメール fureai@abeam.ocn.ne.jp

——— 利用のご案内 ———

- ◆開館時間 9:30 ~ 16:30
- ◆休館日 毎週月曜日（月曜が休日の場合はその翌日）
年末年始（12月28日～1月4日）
臨時休館日についてはお問い合わせください。
- ◆入館料 無料
- ◆団体でのご利用の際は、事前にお申し込みください。